

第 27 回 糸 賀 一 雄 記 念 賞 受 賞 者 ・ 団 体 紹 介

福森 伸 氏・福森 順子 氏 (鹿児島県鹿児島市)



■経歴

福森 伸 氏

1959年 鹿児島県生まれ。

1983年 両親が創業した障害者支援施設しょうぶ学園に勤務。

木材工芸デザインを独学し、「工房しょうぶ」を設立。

音パフォーマンス「otto&orabu」・家具プロジェクト・食空間コーディネーターなど、「衣食住＋コミュニケーション」をコンセプトに、工芸・芸術・音楽等を新しい「SHOBU STYLE」として、知的障害者のさまざまな表現活動を通じて多岐にわたる社会とのコミュニケーション活動をプロデュースしている。

(現社会福祉法人太陽会 理事・統括施設長)

福森順子 氏

1955年 東京都生まれ。

1991年 しょうぶ学園に勤務。

1992年 縫うことにこだわった「nui project」をプロデュース。

1999年 デイサービスセンターDo しょうぶ 所長

2019年 しょうぶ文化芸術支援センターアムアの森 館長

(現社会福祉法人太陽会 相談役)

■活動内容

- ・針一本で独特の刺繍の世界を作り上げる「nui project」や、民族楽器による音パフォーマンスグループ「otto&orabu」など、施設利用者の個性が光る表現活動を発信している。
- ・1985年の「工房しょうぶ」、1999年には在宅デイサービスセンター「Do しょうぶ」、2019年にはアートホールを備えた子どもたちの支援施設「アムアの森」の開設など、地域福祉と地域貢献に力を入れている。
- ・福森夫妻は、健常者の価値観にとらわれず、それぞれが「生きる」という概念を尊重し、利用者の個性や興味を大切にする環境づくりを実践しており、ものづくりを通じ、障害者の可能性を引き出し、障害の有無、支援する側される側といった垣根を超えたコミュニティづくりがなされている。

幅の広いさまざまな創作・表現活動により、障害者それぞれの可能性を引き出す取り組みをされており、障害者が興味を持ち、楽しく活動していることを大切にするを施設運営における理念とされている。こうした他の障害者支援施設の模範となる傑出した取り組みが評価され、また、今後一層の活躍が期待されるとして、糸賀一雄記念賞の受賞となりました。